

主担当部：生活部

（現状と課題）

2006年（平成18年）2月に実施した「男女共同参画に関する意識調査」では、調査時点で就労していない女性のうち、今後働きたいと回答した女性は41.8%（約13万人）に上っています。しかし、実際には、自己の適性或キャリア形成等に対する不安、また、総合的な相談体制が十分整備されていないことから、就労等の社会参画に踏み出せず、意欲ある女性が十分に能力を発揮できていない現状となっています。

また、「平成17年度三重県職業能力開発ニーズ調査」において、いわゆる「団塊の世代」のうち、定年後も就労したいとする人の割合は63.2%と多数を占めるものの、平成17年度の高年齢者の就職率は5.3%と厳しいものとなっています。

このため、意欲のある女性や高年齢者が、就業をはじめとした社会参画を行うためのさまざまな支援が求められています。

（重点事業のねらい）

少子高齢化が進む中、活力ある社会を築いていくためには、女性が自己の意欲、能力に応じて社会のさまざまな分野で活躍し、主体的かついきいきとした生活を送れるようにするとともに、働く意欲のある高年齢者が職業経験で培った経験・技能を生かし、社会で活躍できるようにしていくことが重要です。

このため、個人の態様に応じた支援を行うとともに、企業や地域での支援体制を整備することで、女性および高年齢者が、就業などの社会参画を通じて自己の能力を十分発揮し、自己実現をはかれるようにします。

（重点事業の取組目標）

目標項目	県が実施するチャレンジ支援事業により支援した人数
------	--------------------------

〔目標項目の説明〕

- ・社会参画を希望する女性や高年齢者を対象とした相談、シンポジウム、就業体験等の事業に参加した人数

（具体的な取組内容）

取組方向1：個人の態様に応じた支援に向けて

- (1) 女性のチャレンジ支援を総合的に推進するため、各支援機関等からなるチャレンジ支援ネットワークを構築するとともに、インターネットサイトを開設し、各種支援情報を提供します。

- (2) 意欲や能力のある女性や高齢者が就業をはじめとした社会参画を行うために、国の事業と連携し、情報提供やニーズに応じたアドバイスなど必要な支援をワンストップサービスで提供できるしくみを整備します。
- (3) 高齢者の求人と求職の適合の可能性を高め、スムーズな就労につなげるため、就業体験の機会を提供します。

取組方向2：企業の理解の促進と地域における支援体制の整備に向けて

- (1) 企業の雇用・就労環境整備の意識を高めるため、女性の再チャレンジを容易にし、男女が共に働きやすい職場づくりに取り組む企業を評価するしくみを整備します。
- (2) 地域においてチャレンジしたい女性に対して、支援情報等を提供できる人材を育成し、女性のチャレンジに対する地域での支援体制を整備します。

県が他の主体に期待する取組

- NPO、企業や各種団体が、女性や高齢者の就業を含めたチャレンジへのさまざまな情報を提供するとともに、職業教育・職業訓練の実施や就業機会の確保に積極的に取り組みます。
- 企業が、雇用・就労環境整備の意識を高め、男女が共に働きやすい職場づくりに取り組みます。

平成19年度 重点事業要求事業一覧

(単位：千円)

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
生活部	チャレンジ支援ネットワーク事業費	112 (p. 3)	男女共同参画社会の実現	7,823
生活部	チャレンジ支援センター事業費	112 (p. 3)	男女共同参画社会の実現	28,163
生活部	チャレンジサポーター連携事業費	112 (p. 3)	男女共同参画社会の実現	2,183
生活部	シニアインターンシップ事業費	211 (p. 16)	地域の実情に応じた多様な雇用支援	8,188
生活部	チャレンジ受入企業の評価づくり検討事業費	212 (p. 18)	職業能力の開発と勤労者生活の支援	1,352
(事業計)				47,709